

独立行政法人家畜改良センターの令和元事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、農林水産大臣による令和元年度の評価においても、役員の解任につながる評価はなかったこと等を踏まえ、役員の解任は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	常勤役員の俸給の月額や期末特別手当の額は、業績を考慮し、これを増額し、又は減額することができるとなっているが、令和元年度においては、これらの増減を行わなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和元事業年度評価における主な指摘事項	令和2及び3年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	家畜防疫の強化及び衛生管理の改善等への取組については、新冠牧場において家畜伝染病予防法で規定する家畜伝染病であるヨーネ病の清浄化が進まず、家畜の飼養を一時中断せざるを得ない状況になったことについては、計画的な防疫業務の実施及び防疫対策の自己点検の実施について計画どおり実施されたとはいえず、改善を要する。	【令和2年度】 新冠牧場におけるヨーネ病の清浄化を図るため、家畜の飼養を一時中断し、畜舎等の徹底的な洗浄・消毒を行った上、環境検査を実施し陰性を確認した。また、牛の再導入に向け、畜舎等への防鳥ネットの設置や畜舎周辺の排水路整備など飼養環境改善等に取り組むとともに、豚熱や高病原性鳥インフルエンザの侵入防止において畜舎で実施されている高い衛生管理手法を取り入れ、さらに、清浄な飼料等を供給する体制を整えた。なお、センター内の他牧場との連携により遺伝資源の継承を図り、令和3年4月の更新牛導入の準備を整えた。 【令和3年度】 4月に更新牛の導入を開始した。高い衛生管理を継続し、牛群及び牛舎環境の検査により清浄を確認しつつ、適切な規模の牛群造成を進める。